

GIGA スクール News

～すぐにでも どの教科でも 誰でも使える ICT をめざして～



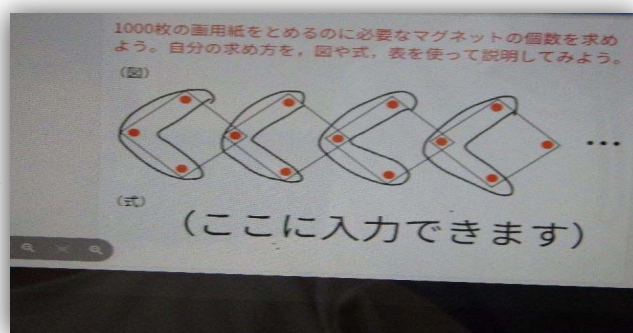
「協働的な学び」にスクールタクトを活用！

～ 晃陽中学校校内授業研究会の様子から ～

夏休みが明けてから、早3週間が経過しました。夏休み前と比べて、一人一台端末の活用は進んでいるでしょうか。

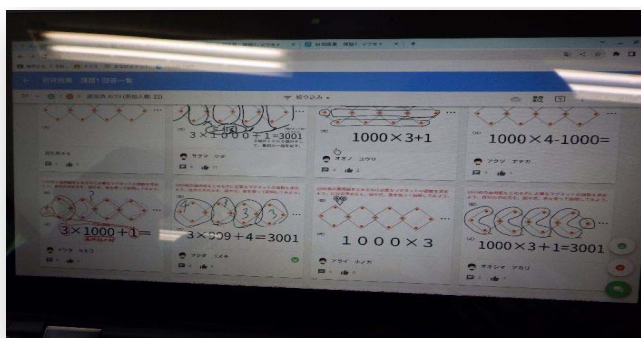
さて、今号では、7月に晃陽中学校で行われた校内授業研究会の様子をお知らせします。写真の通り、1年生の数学の授業におけるスクールタクトの活用事例で、オーソドックスな授業展開ながら、「個別⇒グループ⇒一斉」の各学習形態において、ツールが効果的に使われています。

スクールタクトの有用性については、48号、49号でもお知らせしたところですが、今回の研究授業での活用例を見ても、「協働的な学び」の充実を図るうえで、先生方・児童生徒双方にとって、本ツール活用のメリットはかなり大きいものがあります。これまでも幾度となくお伝えしてきたように、すべての学習活動においてデジタルに優位性があるとは言えないと思いますが、少なくとも本時のような授業展開においては、紙のワークシートとホワイトボードよりも時間を有効に使うことができるとともに、児童生徒の思考が活性化し、学びが深まる可能性は格段に高くなるのではないのでしょうか。



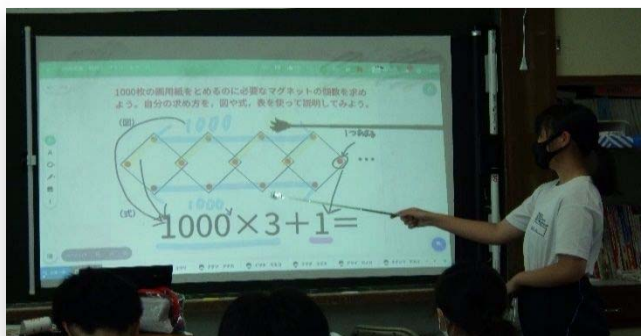
<本時の目標『1000枚の写真を貼るのに何個のマグネットが必要か?』>

<まず、個人の考えをシートに記入します。>



<一覧化された全員のシートを見て、多様な考えに触れます。>

<端末を使い、グループで考えを伝え合います。>



<指名された生徒が、考えたことを全員に説明します。>

<授業研究会での先生方の主な意見>

- ・自分の端末をそのまま使ってグループや全体での発表ができるので、時短かつ分かりやすいと改めて実感した。
- ・スクールタクトを使ったことで、ペア学習、グループ学習、一斉学習の各場面で、多様な意見の交流ができたと思う。